



もちまき こっちにも投げて～

# 町民まつり

社体に全員集合

## 秋盛りだくさん



### オープニングセレモニー

今年初めて会場を社会体育館一つにしての開催。オープニングセレモニーも盛大



### 大演芸会「わらすの部」

葛巻保育園児の遊技



### 地産地消キャンペーン

「チラシをたなあってコーヒー牛乳を飲もう！」



### 町長を探せ

鈴木町長を見つけた人に町の特産品プレゼント



### 読み聞かせ会

おはなしの世界へ集中。講習を終了したボランティアの皆さん大活躍。



### 丸女切り大会

「あ～疲れるウー。やるって言わなきゃ良かったかな」と意外にも体力勝負。



ホストファミリーとアクセサリーづくりの体験をした葛高生。右から2人目が同行した高屋敷梢先生。「この研修に参加したくて葛巻高校に入りました」との声も聞かれました。



高家愛美さん(1年)

### この感動は大切な財産

現地に着いて一番最初に、街並みや建造物に感動しました。写真やテレビで見るとは違って、自分の目で見る事ができたからです。ブドウ畑の広さにもびっくり。もぎたてのブドウはとておいしかったです。ホストファミリーとも貴重な時間を過ごしました。わたしの片言の英語にも耳を傾けてくれたこと、優しく話しかけてくれたこと、一緒にランチを作ったことなどとても楽しい思い出です。十日間は印象深いものばかり。この感動を自分の大切な財産にします。

### 発言の多いドイツの授業

わたしがドイツに行って、日本との違いを最も大きく感じたのは学校でした。小学生から高校生くらいまでみんな一つの学校に通っていて、その人数の多さに驚きました。また、服装がとても自由な雰囲気、日本より明るく感じました。一番驚いたのは生徒達の授業態度でした。分からないところはすぐ質問し、発言もとても多い感じでした。「受け身」の日本の生徒とは大きな違いを感じました。



橋場 綾さん(1年)



熊谷有香さん(2年)

### 再び訪れたい国ドイツ

ドイツ研修は何もかも初めての旅でした。葛巻はまだ暑いとき、ドイツではセーターを着るほど寒い時期を迎えていました。食べ物はおいしく、街並みはきれいでした。ワイン祭りのパレードでは、州知事や市長さんの前を歩くという予想外の展開でしたが、わたしたち5人は楽しく「さんさ」を踊ってきました。現地の病院研修で貴重な体験もできました。絶対にまた行きたい国ドイツ。今度はおいしいワインをたくさん飲みたいと思います。

### 分かり合おうとする心

わたしにとってこのドイツ研修への参加は中学生のころからの夢でした。異文化との交流、音楽の勉強、進路のことなど参加した理由はたくさんあります。研修を終え、「英語」と「相手を分かり合おうとする心」の大切さを身にしみて感じています。美しい街、伝統の街並みは全て人々の心で守られていました。日本との違いはいくつもありますが、人と人をつなぐ心に距離なんて関係ありませんでした。十日間で得たものは一生の財産です。



林 亜理沙さん(1年)

葛巻高原食品加工(株) (社長・鈴木重男町長) 主催の「ワインとミルクの旅」で、葛巻高等学校(伊藤正博校長・生徒百五十人)の生徒四人は九月五日から十四日までの十日間ドイツを訪れました。パードテュルクハイム市で開かれたワイン祭りでは浴衣を着て「さんさ踊り」を披露し、パレードで州知事や市長などと先頭を行進し「葛巻」をアピールしました。またホームステイ先や学校での授業、病院での見学などで多くのことを学びました。参加した生徒から感想を寄せてもらいましたので紹介します。

# ドイツ研修

葛巻高校生の